突然、表れる症状に要注意

救急疾患の症状・サインについて

川崎幸病院
救急部部長／臨床研修センター副センター長
髙橋 直樹 医師

突然、顔に表れる症状・サイン

・顔の半分が動きにくい
・片方だけがゆがむ
・ろれつがまわりにくい
・視野がかける、もしくは狭くなる

これらの症状は**「脳卒中」**の可能性があります。特にこれらが急に出現した場合にはその可能性が高いです。

「脳卒中」には上のイラストのように「FAST」チェックというものがあります。

脳卒中には血管がつまる脳梗塞と血管が破れる脳出血があり、特に血管が詰まる脳梗塞は発症から治療開始までの時間が早いほど改善する可能性が高くなりますので少しでもおかしいと思ったらすぐに救急外来を受診してください。

突然、頭に表れる症状・サイン

「突然の激しい頭痛」は**「くも膜下出血」**の可能性があります。

「くも膜下出血」は「バットで殴られたような痛み」と表現されるくらいの激しい頭痛、吐き気や嘔吐、意識障害が表れます。

これらの症状が突然出現した場合には要注意です。

中には一度頭痛が起こり一旦治まったのちに再度頭痛が出現することがあります。これは一度出血した後に再度血管が破れてしまう再破裂の状態です。

いつもと違う突然の激しい頭痛の場合には一旦治まっても油断しないようにしましょう。

突然、胸や背中に表れる症状・サイン

「突然の胸や背中の痛み」は**「大動脈解離」**や**「狭心症」「心筋梗塞」「気胸」**の可能性があります。

特に**大動脈解離**は血管が突然裂ける病気で、痛みの位置が胸から背中、お腹や脚などに移動することがあります。緊急手術が必要な緊急性の高い病気です。

狭心症や**心筋梗塞**は、胸が締め付けられるような感覚や象に乗られているような重苦しい感覚をきたします。胃の痛みや肩の痛み、顎や喉の痛みを自覚することもあり、胸から30cm周囲の部分に突然痛みや締め付けられるような感覚があれば心臓の病気を疑います。

狭心症は、5～10分ほどで安静にすれば痛みがひくことがあります。

心筋梗塞は痛みが1～2時間続きますが、特に冷汗を伴う場合は要注意ですので救急車を呼ぶことをおすすめします。

①緊急の場合は救急車を呼びましょう

②迷った場合
川崎市救急医療情報センター　044-739-1919
横浜の方は横浜市救急相談センター＃7119
（または045-232-7119）に相談を。

③川崎幸病院では、救急外来を行っております

ご来院の前に、可能な範囲でまずはお電話をお願いいたします。直接ご来院頂いても、病状によっては救急担当医の判断で、対応可能な医療機関への受診をお願いする場合があります。そのため、当院へお越し頂く前にお電話で救急外来受診のご相談をしてください。ただし、救急車を呼ばれる場合はこの限りではありません。

TEL044-544-4611（代表）

④一般診療外来は、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、川崎クリニック、にて行っています。